

AIMSグリーンケアプログラム 参加家族募集中

平成29年
3月26日(日)/5月28日(日)
7月23日(日)に決定

詳細は、AIMSのホームページをご覧ください。
(開催は東京都内。参加は無料)

<http://www.aims-japan.org/>



母子に安らぎを与えてくれたグリーンケアプログラムとは？

グリーンケアとは大切な人との死別や離別で経験する深い悲しみ、怒りなどの感情に正面から向き合い、寄り添いながら受け入れていくこと。同プログラムでは、ファシリテーターと呼ばれる専門スタッフが見守る中、子

どもたちには、同じ境遇の子たちとの自由な遊び時間を通して自分の気持ちを表現・発散してもらいます。大人の方たちには、子どもを育てる不安などを話し合う、保護者の会を別の部屋で開催しています。

く、世代が近かったので共感できることもたくさんありました。」

その後、グリーンケアプログラムが開催される度に足を運ぶようになり、徐々に風景の色彩が戻ってきたという長澤さん。立夏子ちゃんも「あそこに行くのが安心する」と話してくれるようになりました。

「幼稚園時代、長女はパパを亡くしたことを友だちに素直に話していました。けれど、小学生になると友だちの反応に戸惑い、パパがいないことを隠すようになり、それがコンプレックスになりストレスも溜まっていたはずでした。ただ、AIMSに来る子たちは同じ境遇で、プログラム冒頭で本人が言いたくないと言わない限り、誰を亡くしたか各自が話します。だから子ども同士気持ち共有できると思います。次女も成長とともに、パパの死への捉え方が変わってくるでしょう。その時にAIMSが大きな助けになるはずですね。」

お子さん2人が「明るくいつづけられる」のもAIMSの存在が大きい、と語る長澤さん。同じ悲しみをもつ親御さんにはぜひAIMSに参加してほしいと言います。

「パートナーを亡くした悲しみは余りに大きく、子どもも親を亡くしたストレスを感じているかも知れません。でも、同じ境遇の人と話せば気分もすっきりしますし、パワーをチャージできると感じています。ひとりで抱えず、一度グリーンケアプログラムに足を運んで頂きたいですね。」



AIMSに来て、家族に
どんな変化がありましたか？

同じ境遇の人と話せることで、パワーをチャージでき、
少しずつ前向きになれるよう
になりました。



家族にとって
AIMSとはどんな場所？

親同士、子同士、お互いの
気持ちを共感・共有できる
場所。だからこそ娘も私も
安心できる場所と感じてる
のだと思います。



ミキハウスはAIMSの活動に賛同しています。

創立者：小林 真理子 - 故人 -
顧問：浅利 慶太 (劇団四季前代表)
井上 孝代 (明治学院大学名誉教授 臨床心理士)
上田 紀行 (東京工業大学リベラルアーツセンター長・教授)
漆 紫穂子 (品川女子学院校長)
鎌田 寛 (諏訪中央病院名誉院長)
川井 郁子 (ヴァイオリニスト)
川越 厚 (医療法人社団バリアン理事長)
野島 直樹 (NHK交響楽団前理事長)
(敬称略・五十音順)

代表：高井 伸太郎
事務局長：小林 孝雄
理事：明石 由紀子
池上 三六
上野 雄介
Aki Shelton
三浦 建太郎
(博士 医療福祉学)
監事：唐津 真美
(弁護士)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里6-13-12-1103

特定非営利活動法人AIMS 2011年8月設立
2012年4月特定非営利活動法人として登記

■AIMSに関するお問い合わせ

お問い合わせはメールにてお願いいたします。随時返信させていただきます。
info@aims-japan.org